

各種委員会行政視察報告

教育 民生

10月27日から29日まで愛知県知多市、大府市、岡崎市を視察した。

知多市「リサイクルプラザ」 「市民活動センター」

発展する中部工業地帯の「知多市」では、「ゴミ」の問題が重要課題で、知多方式のゴミ処理を市民参加で作成し、収集場所に住民が当番で点検に当たり、徹底した資源ゴミの分別を行っている。

大府市「産直「げんきの郷」」 「大倉公園」

産直「げんきの郷」は近隣の購買者（土・日は駐車場に万を越す）と生産者を結ぶ拠点とし、経営者の努力で年間20億超す売上

を達成していた。大倉公園の茅葺き門が本市の職人によって立派に整備されたのを視察した。

岡崎市「岡崎自然体験の森」

「水と緑の森の駅」事業の一施設で、市民の地域づくり団体が主体で運営され、自然体験や交流の場として年齢を問わず市民活動に提供されていた。



リサイクルプラザでの研修風景



大府市大倉公園のかやぶき門

産 業 建 設

11月16日から18日まで長野県下伊那郡喬木村、飯田市、愛知県田原市を視察した。

喬木村では、「旬小池手造り農産加工所」を視察研修した。優れた品質のトマトケチャップで全国的に知られる。味の良さ、高品質な商品作りに加え、農家の要望に応じた商品作りと農家に負担とならない商品販売システムにより、全国各地の農家からの加工委託が多い。

飯田市では、南信州地域で(株)南信州観光公社を設立し、グリーンツーリズムに取り組んでいる。169の体験プログラムがあり、体験教育旅行にあつては、年間116校、17,000名の児童生徒が利用するグリーンツーリズムの歴史と課題について研修した。

田原市は、花き、野菜、畜産の農業が盛んであり、農業産出額は700億円を超え、全国第1位を誇る。主要作物の一つであるスプレーギクの栽培農家及びJA愛知みなみの花き出荷場を視察研修した。機械化と海外からの労働力の受入により、栽培農家の経営規模は拡大している。生産者とJAなどの関係機関が一体となった取組が印象に残った。



田原市の花き栽培ハウスでの研修風景